

Christmas concert

クリスマスコンサート

クリスマスムードを盛り上げるクラシックコンサート。1日の終わりのほんのひととき、心ふるわす音色をお届けします。是非、お立ち寄り下さい。

■12/15[mon] ■当ビル1Fロビーにて
■PM 5:45 ~ PM 6:30 ■Admission: FREE

弦楽四重奏メンバープロフィール

Mauro Iurato (1st Violin)

ヴェルディ国立音楽院を最優秀で卒業。ウィーン国立音楽大学ディプロマ取得。ストレーザ、トルトーナ、ピエツラ、ヴィットリオ等の国際コンクール優勝。

Frischenschlager教授とウィーン・トリノ・ヴィルトゥオーゾ国際室内楽団を結成。大阪フィルハーモニー交響楽団にコンサートマスターとしてゲスト出演。大阪国際音楽コンクールウィーン及びファイナル審査員、マスタークラス講師及び理事。

北野裕孝 (2nd Violin)

灘校クラシック研究部、大阪医科大学管弦楽部主将。ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、گران・ガラ・オーケストラ大阪等と協演。

大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門、ヴィルトゥオーゾコース、コンチェルトコース各第1位、神戸市長賞など受賞。

国立モーツァルテウムサマーアカデミーディプロマ取得。

矢島千愛 (Viola)

滋賀県立石山高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。
滋賀県新人演奏会優秀賞受賞。
アンサンブル神戸メンバー。

Gia Kheoshvili (Violincello)

トビリシ国立音楽院卒業。グルジアチェロコンクール、コーカサス音楽コンクール優賞。グルジア放送、マチェラータ・オペラ交響楽団の首席奏者、グルジア、ルスタヴィカルテット等で活躍。トビリシ国立音楽院、グルジア芸術アカデミー等で、ソロ、室内楽指導。大阪シンフォニカー、関西フィルハーモニーの首席奏者を務めた後、ソロ及びトビリシ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。大阪国際音楽コンクール審査員。

演奏曲

Amazing Grace(われをもすくいし)

賛美歌第2編167番。黒人霊歌であったこの曲に、イギリス人牧師ジョン・ニュートンが作詞、世界中で歌われるようになった。

Adeste Fideles(神のみ子は今宵しも)

賛美歌111番。原題は「O Come, All Ye Faithful」といい、18世紀中頃にフランス人ジョン・フランシス・ウェイドによって作曲された。

We wish you a merry Christmas(クリスマスおめでとう)

イギリス民謡。クリスマスと新年を迎える喜びを歌ったキャロル

The first Noel(牧人ひつじを)

賛美歌103番。16世紀後半頃のイギリスのクリスマスキャロル。

Million roses(百万本のバラ)

グルジアの画家ピロスマニを描いた実話を元に、ロシア人が作詞したもの。
“フランスから来た踊子に恋をし、家財売り払い百万本のバラを贈ったが、踊子は帰国…想いは届かなかった”

Canon by Pachelbel(パッヘルベルのカノン)

ドイツの作曲家ヨハン・パッヘルベルが17世紀中頃に作曲。
[3つのヴァイオリンと通奏低音のためのカノンとジークニ長調]より。

Aria on G-string(G線上のアリア)

J.S.バッハ作曲「管弦楽組曲第3番」の第2楽章。
ヴァイオリンのG線だけで弾くようにアレンジされ、単独で演奏されるようになった。

Ave Maria(アヴェ・マリア)

イギリスの詩人ウォルター・スコットの「湖上の美人」に含まれる「エレンの歌・第3番」にシューベルトが曲付けしたもの。

O Holy Night(さやかに星はきらめき)

賛美歌第2編219番。フランスのクリスマスキャロルが英訳されたことで世界中に広まり、パバロッチも好んで歌った。

Pizzicato Polka(ピチカート・ポルカ)

ヨハン・シュトラウスと弟ヨゼフ合作の曲。全曲通して、弦を指で弾いて演奏する特殊な曲。

※曲目、演奏順は変更になる場合がございます。